

向き合う政治。

今回の号外では、本庄さとし総支部長の国会活動を特集します。

衆議院議員 千葉8区(柏市・我孫子市)選出

党副幹事長
千葉県連副代表

本庄さとし



「国政報告会」

本庄さとしプロフィール

- 1974(昭和49)年10月22日生まれ
- 東京大学法学部卒(体育会テニス部・北岡伸一ゼミOB)
- 衆議院議員岡田克也事務所(19年間勤務)
政策担当秘書、外務大臣秘書官、副総理秘書官を務める
- 党公募を経て、2021年衆院選で初当選(13万5,125票)
- 家族／妻、息子(中1)、娘(小5)
- 好きな食べ物／冷奴、そば、昆布締め、漬物、コーヒー
- 息抜き／テニス、子どもたちと過ごす時間、妻との晩酌
- 好きな言葉／意志あるところに道は開ける
- 政治を志したきっかけ／10代で目の当たりにした消費税導入と湾岸戦争

参加
無料

ご参加のお申込みは
電話、FAX、メール、
またはQRコード→
からお願いします。



柏会場

先着150名

日時
2023年2月23日 木祝 ④14:30~

場所 アミュゼ柏「プラザ」 柏市柏6-2-22



我孫子会場

先着100名

日時
2023年2月26日 日 ④10:30~

場所 あびこ市民プラザ「ホール」 我孫子市我孫子4-11-1 あびこショッピングプラザ3F



特別ゲスト
前衆議院議員
みやかわ伸

ごあいさつ

昨年は国会で、テレビ中継の予算委員会、本会議での登壇はじめ十数回の質問に立ち、また、副幹事長として、岡田克也幹事長を支えて党務にあたるなど、大きな収穫の年となりました。「新たな挑戦の年」として、さらなる飛躍を遂げられるよう、今年も全力投球で臨みます。

さて、昨年末の国会閉会後に政府・与党だけで決めた「防衛増税」、過去最大114兆円の超バラマキ予算、ドサクサまぎれの4人目の大臣辞任など、岸田政権の混迷は目を覆うばかりです。

そういう中での通常国会、150日間の与野党攻防のスタートとなります。

私も引き続き、予算委員会など国会の最前線で、岸田総理や大臣にガチンコの論戦を挑みます。

物価高騰や伸びない賃金に苦しむ暮らしと経済、「反撃能力」保有など安全保障政策の大転換、歯止めのかからない少子化・人口減少、なし崩し的な「原発復権」など、国の命運を左右する重要課題に、今こそ正面から取り組むときです。

昨年の参院選に続き、今年もまた「選挙イヤー」です。

4月の千葉県議選を皮切りに、8月に柏市、11月に我孫子市で市議選が予定されています。しっかりと候補者を擁立し、政策を訴えます。

衆院補選も4月に行われます。特に千葉5区は、4千万円以上の「裏金」で辞職した自民党議員の補欠選挙です。絶対に負けられません。

岸田総理が今年、解散・総選挙に踏み切る可能性も十分にあります。

国会、補選、地方選と連動しながら、2回目の衆院選に向けて、「常在戦場」の覚悟で準備を進めて参ります。引き続き、皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

衆議院議員 本庄さとし

「区割り変更」 (全国で10増10減、千葉は1増)



昨年11月、一票の格差是正のため、衆院小選挙区を「10増10減」する改正公職選挙法が成立。12月末に施行され、次の衆院選から適用されます。過去最多となる140選挙区の区割りを変更するもので、千葉県は「1増」となります。

千葉8区も区割りが変わります。旧沼南町を含む「柏市全域」が新8区となり、残念ながら、我孫子市は新13区に移ります。

ただ、今の任期中は、唯一の地元選出の衆院議員として、しっかりと仕事をして参ります。13区総支部長の「みやかわ伸」前衆院議員ともども、よろしくお願い申し上げます。



前衆議院議員
みやかわ伸

- 党千葉13区総支部長
- デモクラツチCHIBA代表
- 元バイオベンチャー経営
- 1970年生まれ
- 大学生2人の父



ご支援・ご協力のお願い

- 1 ポスター掲示
- 2 友人・知人のご紹介
- 3 ご寄付
- 4 ポスティング、ビラ配り
- 5 事務所での軽作業 など

立憲民主党千葉県第8区総支部

〒277-0863
柏市豊四季949-9 ジュンカ南柏101
④04-7170-2680 ④04-7170-2681

ご意見・ご要望は ☐ info@honjosatoshi.jp

本庄さとし事務所(国会)

〒100-8982
千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館1219号室
④03-3508-7519 ④03-3508-3949

公式ウェブサイト ☐ honjosatoshi.jp



LINE 友だち追加



11/25 予算委員会

昨年11月の予算委員会デビュー戦、「2次補正予算案」の審議で岸田総理と初対決。30分間、激論を交わしました。財政民主主義、予算単年度主義など、国の財政に対する私と総理の基本的な考え方の違いが浮き彫りになりました。

今回の補正予算案は、29兆円という「規模」だけではなく、「中身」も問題です。予備費4.7兆円の「見せ金」と基金8.9兆円の「つかみ金」で予算額を膨らませ、しかも財源のほとんどは新たな借金23兆円、まさに「バラマキ予算」の極みです。

立憲民主党は維新の会と共同で、不要不急の予備費と基金を削除し、子ども・子育て、教育など、緊急に必要な“未来につながる”コンパクトな予算への組み替えを提案しました。



国会闘論！

「本庄さとし vs 岸田総理」

国会質疑の模様は、
ホームページより
ご覧ください



1 一夜にして4兆円の増額

本庄さとし 今回の補正予算は、一夜にして4兆円も増額され、29兆円となつた。その政策決定について「答弁を控える」ことは認められない。公文書管理法でも、閣議の決定や経緯は文書の作成が義務付けられている。

岸田総理 経緯は、与党における様々な議論の積み重ねの結果だ。

鈴木財務大臣 意思決定等に影響が出るため、具体的な内容は、情報公開法令の観点から慎重な判断が必要だ。

本庄さとし 政府の中で、官邸や財務省で、様々な議論があつただろう。公的な場での議論を明らかにできないとなれば、公文書の意味が一切なくなってしまう。予算委員会への文書の提出を求める。

2 予備費4.7兆円の「見せ金」



本庄さとし 予備費4.7兆円は「見せ金」以外の何物でもない。「コロナ・原油・物価予備費」に加え、今回は「ウクライナ予備費」まで。今年度も残り4か月、なぜ今、こんなにも巨額の予備費が必要なのか？

岸田総理 要は危機感の問題だ。これから先の経済を考え、国民生活を守るべく、政府として備えなければならない。

本庄さとし 危機感は分かるが、あまりに過大だ。ただお金を積み上げ、大きな予算を組んだから安心くださいと言っているに過ぎない。

3 50基金8.9兆円の「つかみ金」

本庄さとし 昨年12月の補正予算でも、経産省が計上した基金1.9兆円のうち、年度内に支出したのは1200億円(6.2%)のみ。補正で急ぐ必要はなかった。今回の8.9兆円も同じことではないか？

岸田総理 まさにこれから日本の経済を本格的に成長させるために重要だ。初年度で実際に発動されないとしても、大きな方向性を示すという意味で、大変意味がある。



4 保険証廃止

本庄さとし 6月の骨太方針では、保険証は「原則廃止」するが、「加入者が申請すれば交付される」となっていた。当時の厚労大臣も「従来の保険証は保障する」と答弁。しかし、そのわずか4か月後、河野大臣が突然「2年後の完全廃止」を発表。政府内でどんな議論があり、「完全廃止」を決めたのか？

河野デジタル大臣 関係閣僚の協議を経て、保険証とマイナンバーカードの一体化のメリットを早期に発現するために、2024年秋に保険証を廃止することを決めた。

本庄さとし 一体化のメリットと、従来の保険証を廃止することは、次元が全く異なる話だ。事実上、マイナ保険証を義務付ける政府の今の進め方は、大いに問題がある。

野党協力で成果。法案・政策を前進！

成果1 旧統一教会被害者救済のため新法成立！

旧統一教会のいわゆるマインドコントロールによる悪質献金被害が注目されました。立憲民主党は7月より対策本部を立ち上げ、10月には、「悪質献金被害救済法案」を野党で共同提出しました。

その後、立憲民主党が先頭に立ち、与野党協議や幹事長会談などで粘り強く働きかけ、12月、ようやく政府が新法を提出。国会審議の中で、さらに「法案修正」を行い、成立させました。家族の救済手段など、積み残しの課題に今後も取り組んでいきます。

成果2 「10増10減」を盛り込んだ公職選挙法改正案を成立

成果3 (旧)文書通信交通滞在費の使途公開法案を提出

成果4 「子育て・若者緊急支援法案」を提出

成果5 子どもの命を守る「通園バス置き去り防止法案」を提出
⇒政府は実質負担ゼロに方針転換

成果6 感染症等改正案の対案・関連2法案を提出
⇒コロナ後遺症の医療、予防接種の情報公開の検討などを盛り込み修正

今年は地方選挙の年！一現職・新人4名を一次公認

2023年は地方選挙の年。地方議会において議席を増やし、党勢拡大を実現します。立憲民主党では、千葉県議会議員選挙(4/9投票)、柏市(8/6投票)・我孫子市(11月予定)の市議会議員選挙に向け、4名の一次公認を決定しました。

柏市議会議員選挙
新人柏市議会議員
現職2期団体職員
永山ともひと我孫子市議会議員選挙
新人我孫子市議会議員
飯塚まこと

党員・サポーターズ募集中！

党員 党費:年間4千円(広報紙購読料含む)

サポーターズ 党費:年間2千円

党員・サポーターズは、代表選挙が実施される場合、「投票権」があります。

立憲民主党の綱領と政策に賛同し、18歳以上で日本国籍を有する方なら、どなたでも登録できます。お申込みは、本庄さとし事務所までご連絡ください。

04-7170-2680

さらなる候補者を公募中！

「政治を変えたい…」「地元の役に立ちたい…」そんな方は、ぜひ公募にご応募ください。私たちの地元を、未来を、一緒につくっていきましょう！



詳しくはコチラ▶